

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **アメーバ赤痢**の報告が2例(30歳代及び50歳代、いずれも男性、第48週追加分含む)ありました。本年の累積報告数は19例となりました。
- ・ **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**の報告が1例(60歳代女性)あり、症状はショック・腎不全・軟部組織炎です。感染地域は国内で、感染経路は創傷感染です。本年の累積報告数は8例となっています。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(70歳代女性)あり、症状は全身倦怠感、肺炎、菌血症、胸痛で、感染地域は国内です。本年の累積報告数は59例となっています。
京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html>
- ・ **梅毒**の報告が1例(20歳代男性)あり、症状は初期硬結及び鼠径部リンパ節腫脹で、感染地域は国内、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は68例となりました。
京都市衛生環境研究所では、機関誌「京都市衛生環境研究所にゅーす」で、梅毒を含む性感染症について病気の症状や予防方法等を分かりやすく御紹介しています。ぜひ御覧ください。
○京都市情報館「京都市衛生環境研究所にゅーす(平成29年度第1号)「性感染症」って何？」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175313.html>

◆ 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>

京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は9.49(408例)となり3週連続で増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 13例(肺結核 6例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 5例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 350例(肺結核 178例, その他結核 57例, 潜在性結核感染者 115例)うち喀痰塗抹陽性 83例】
- ・ 五類:アメーバ赤痢 2例(腸管アメーバ症)【1月以降の累積報告数 19例】
- ・ 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 59例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 68例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1. 52	105
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9. 49	408
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 33	57
	③ RSウイルス感染症	0. 56	24
	④ 手足口病	0. 44	19
	⑤ 咽頭結膜熱	0. 33	14
眼科	流行性角結膜炎	0. 80	8

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>

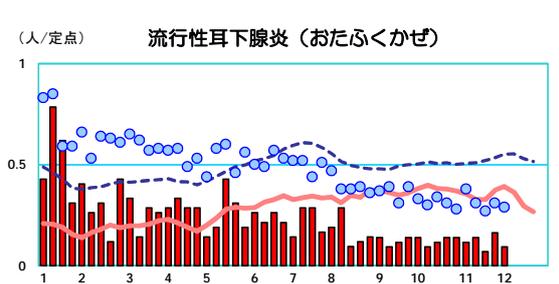
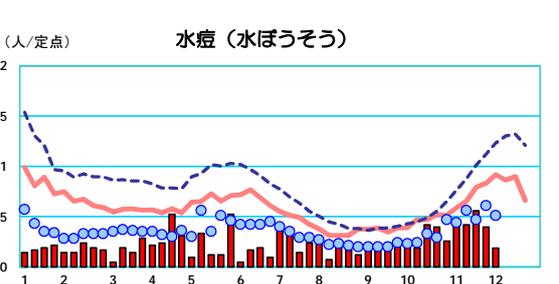
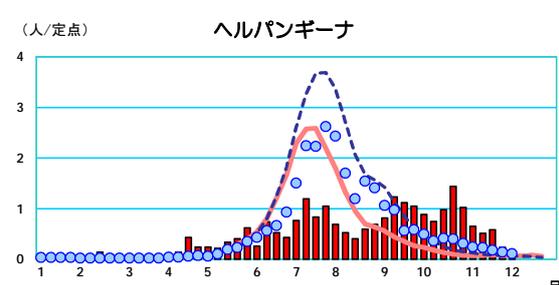
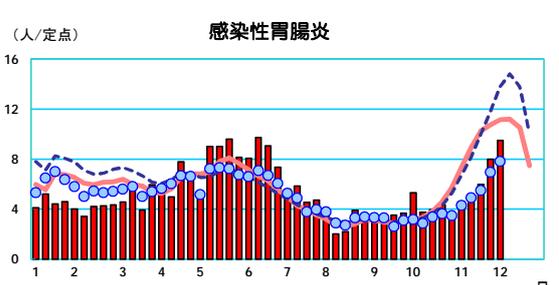
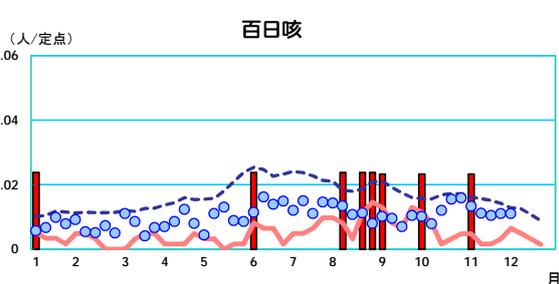
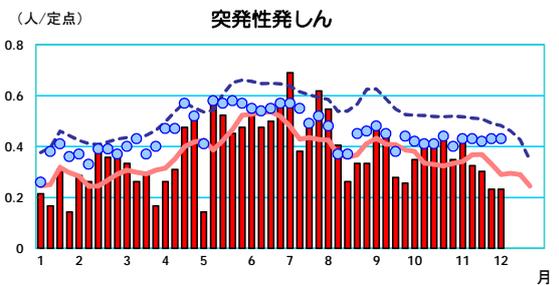
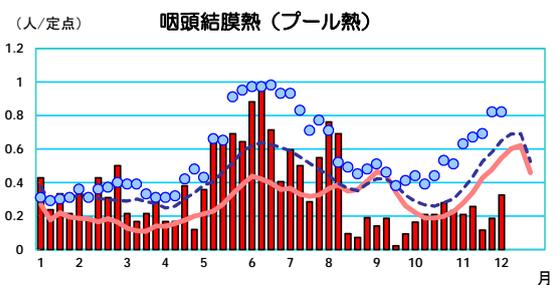
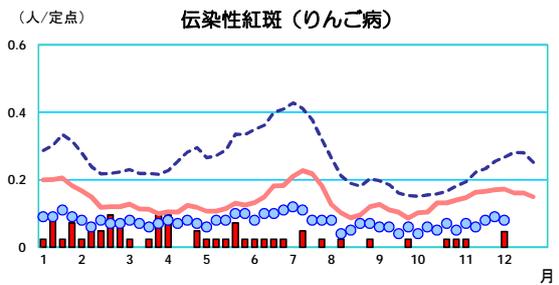
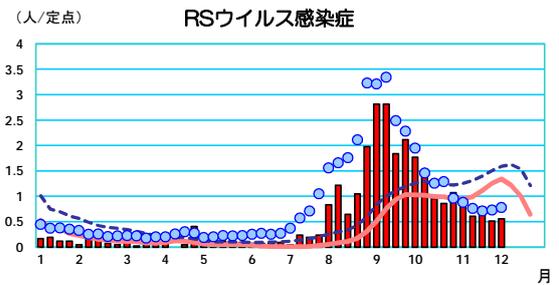
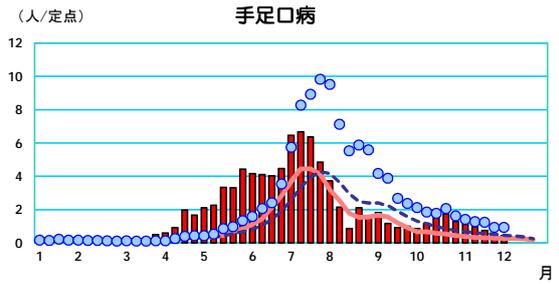
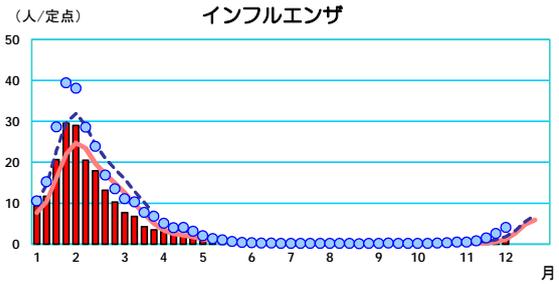
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年12月14日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第49週(12月4日～12月10日)トピックス: <感染性胃腸炎>

京都市及び全国の発生動向

京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は9.49(408例)となり3週連続で増加しました(図1)。京都市内定点当たり報告数の推移を見ると、左京区の報告数が前週より1.7倍と突出して増加しており、京都市全体の報告数を押し上げています(図2)。京都市の過去4年間の定点当たり報告数の推移を見ると、例年43週あたりから報告数が増加し、47～51週にピークを迎えています(図3)。

感染性胃腸炎は、定点当たり報告数が20を超えると警報レベルとされ、一昨年は第49週に1県で警報ラインを超え、昨年は第45週～51週にかけて25都府県でこのレベルを超えました。今年も1県で警報ラインを超えていますが、これは第3週のもので、今シーズンで見ると警報レベルを超える都道府県はありません(図4)。このように、現在までのところ昨年ほどの大流行の兆しは見られませんが、報告数は増加傾向にありますので、今後の推移に注意が必要です。

予防

感染予防には、流水・石けんによる手洗いを励行しましょう。また、吐物や下痢便の適切な処理を行いましょう。京都市では感染性胃腸炎について京都市情報館に掲載しています。下記URLを御参照ください。

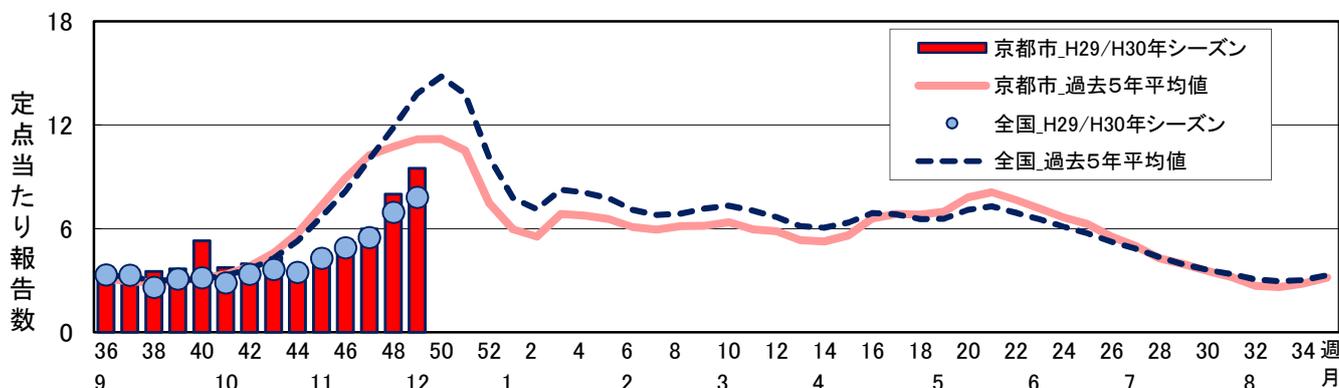
○「感染性胃腸炎に注意!!」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000046226.html>

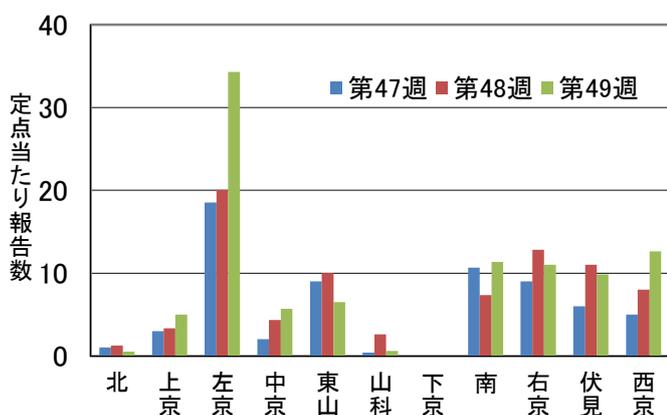
○「こんなときには、手洗いを!!」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000193/193404/KoDoMo27-04.pdf>

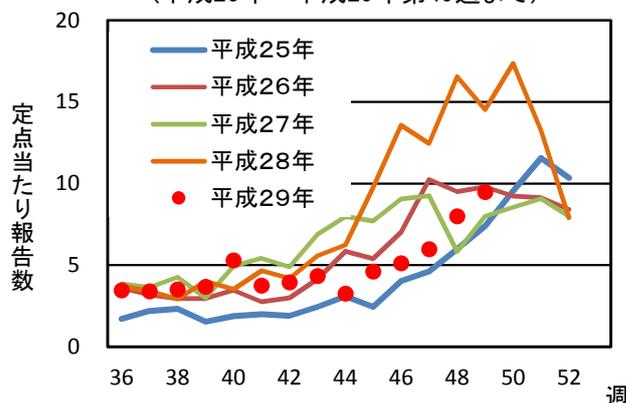
(図1)本市及び全国の定点当たり報告数の推移



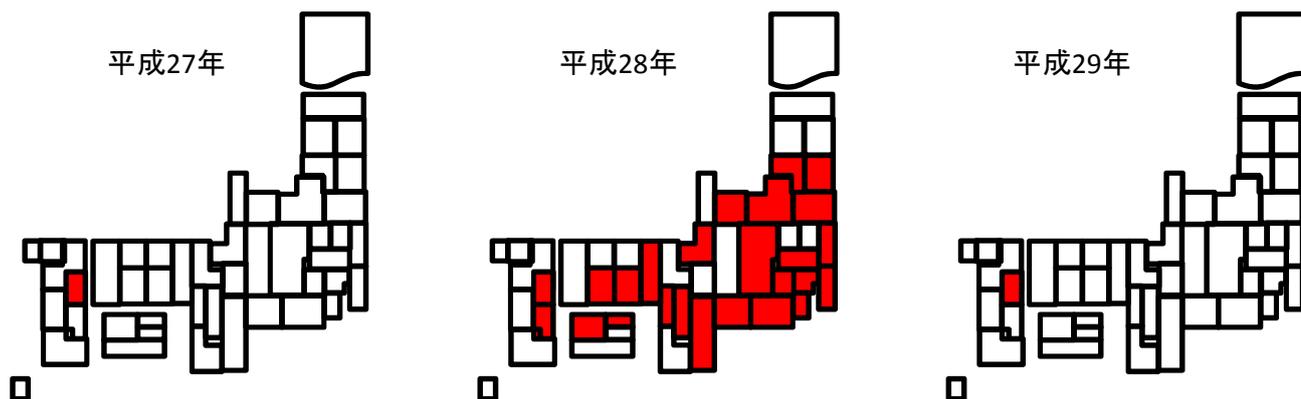
(図2)京都市各行政区の定点当たり報告数の推移



(図3)京都市の定点当たり報告数の推移 (平成25年～平成29年第49週まで)



(図4)定点当たり報告数が警報レベルを超えた都道府県(赤塗り)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第49週

疾病,行政区別報告数

平成29年12月4日～平成29年12月10日

データ入手日:平成29年12月14日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	3	2	-	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4						
上京	14	-	3	5	15	1	1	-	1	-	-	-	-	-						
左京	8	-	1	4	137	1	4	-	-	-	1	-	-	-						
中京	4	3	-	8	17	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	4	4	-	1	13	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	20	-	1	1	3	1	-	-	2	-	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
南	9	-	-	-	34	-	2	-	1	-	-	-	-	-						
右京	10	9	5	10	55	-	7	-	2	-	-	4	-	2						
伏見	10	5	3	6	69	3	1	2	2	-	1	-	-	1						
西京	23	1	1	17	63	1	2	-	1	-	1	-	-	1						
京都市計	105	24	14	57	408	8	19	2	10	-	3	4	-	8	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.43	0.50	-	1.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00						
上京	2.80	-	1.00	1.67	5.00	0.33	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-						
左京	1.14	-	0.25	1.00	34.25	0.25	1.00	-	-	-	0.25	-	-	-						
中京	0.80	1.00	-	2.67	5.67	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1.33	2.00	-	0.50	6.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	2.86	-	0.20	0.20	0.60	0.20	-	-	0.40	-	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-						
南	1.80	-	-	-	11.33	-	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-						
右京	1.25	1.80	1.00	2.00	11.00	-	1.40	-	0.40	-	-	0.80	-	2.00						
伏見	0.91	0.71	0.43	0.86	9.86	0.43	0.14	0.29	0.29	-	0.14	-	-	0.50						
西京	2.88	0.20	0.20	3.40	12.60	0.20	0.40	-	0.20	-	0.20	-	-	1.00						
京都市計	1.52	0.56	0.33	1.33	9.49	0.19	0.44	0.05	0.23	-	0.07	0.09	-	0.80	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第49週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年12月4日～平成29年12月10日

データ入手日:平成29年12月14日

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳- 70歳以上 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ(※1)	年齢1	105	-	1	3	2	-	13	4	8	9	12	3	12	5	8	7	7	3	4	-	4
RSウイルス感染症	年齢3	24	4	2	12	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		14	-	-	3	2	3	1	1	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		57	1	-	1	2	6	5	13	6	3	5	6	6	1	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		408	1	33	75	66	36	44	24	30	17	12	8	18	16	28	-	-	-	-	-	-
水痘		8	-	1	1	2	-	-	-	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		19	-	3	6	1	4	1	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		10	-	2	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		3	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		4	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		8	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	2	1	-	-	1	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳- 50歳- 70歳以上	60歳- 60歳- 60歳- 70歳以上	70歳- 70歳- 70歳以上 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ(※1)	年齢1	1.52	-	0.01	0.04	0.03	-	0.19	0.06	0.12	0.13	0.17	0.04	0.17	0.07	0.12	0.10	0.10	0.04	0.06	-	0.06
RSウイルス感染症	年齢3	0.56	0.09	0.05	0.28	0.09	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.33	-	-	0.07	0.05	0.07	0.02	0.02	0.05	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.33	0.02	-	0.02	0.05	0.14	0.12	0.30	0.14	0.07	0.12	0.14	0.14	0.02	0.05	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		9.49	0.02	0.77	1.74	1.53	0.84	1.02	0.56	0.70	0.40	0.28	0.19	0.42	0.37	0.65	-	-	-	-	-	
水痘		0.19	-	0.02	0.02	0.05	-	-	-	0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.44	-	0.07	0.14	0.02	0.09	0.02	0.02	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.05	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.23	-	0.05	0.16	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.07	-	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.09	-	-	-	-	-	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.80	-	-	-	0.10	-	0.10	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	0.20	0.10	-	-	0.10	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第49週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年12月14日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	10	13	19	41	73	105
RSウイルス感染症	46	35	26	34	22	24
咽頭結膜熱	10	9	11	5	8	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	43	54	54	62	57
感染性胃腸炎	140	198	220	257	344	408
水痘	11	18	18	24	17	8
手足口病	55	48	42	32	21	19
伝染性紅斑	1	1	-	-	-	2
突発性発しん	15	18	14	13	10	10
百日咳	-	1	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	44	28	22	25	10	3
流行性耳下腺炎	6	5	6	3	7	4
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	3	4	1	6	8
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	1	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	382	420	438	489	580	662

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.14	0.19	0.28	0.59	1.06	1.52
RSウイルス感染症	1.07	0.81	0.60	0.79	0.51	0.56
咽頭結膜熱	0.23	0.21	0.26	0.12	0.19	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.00	1.26	1.26	1.44	1.33
感染性胃腸炎	3.26	4.60	5.12	5.98	8.00	9.49
水痘	0.26	0.42	0.42	0.56	0.40	0.19
手足口病	1.28	1.12	0.98	0.74	0.49	0.44
伝染性紅斑	0.02	0.02	-	-	-	0.05
突発性発しん	0.35	0.42	0.33	0.30	0.23	0.23
百日咳	-	0.02	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1.02	0.65	0.51	0.58	0.23	0.07
流行性耳下腺炎	0.14	0.12	0.14	0.07	0.16	0.09
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.30	0.40	0.10	0.60	0.80
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	1.00	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1.00	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	8.87	9.88	12.28	11.09	13.31	15.09

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。